

科目名	臨床栄養学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	後期			
担当者名	綿田 敏孝	関連する資格	栄養士免許 必修				
授業概要 栄養士が患者の栄養指導を行うときに最低限必要な医学知識について、食事療法が重要となる代表的な疾患を中心に、その概念、病態生理、検査・診断法および治療法の概略を講義する。							
到達目標 1. 主な病気について病態生理・診断方法・治療法の概略を理解する。 2. 食事療法を行なう意義、病態を改善するメカニズムを理解する。			成績評価方法 受講態度、授業中に行う小テストおよび定期試験の成績により評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○	○		○		50
小テスト、授業内レポート	○	○	○		○		40
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		5
プレゼンテーション							
グループワーク		○		○	○		5
演習							
実習							
授業計画と概要					アクティブラーニング		
1) 概論～イントロダクション～総論					グループワーク		
2) 総論					グループワーク		
3) 消化器疾患（1）							
4) 消化器疾患（2）							
5) 代謝性疾患（1）メタボリック・シンドローム							

6) 代謝性疾患 (2) 糖尿病 1	
7) 代謝性疾患 (2) 糖尿病 2	
8) 代謝性疾患 (3) 脂質異常症と動脈硬化症 (4) 痛風 (5) 低栄養	
9) 代謝性疾患 (6) 先天性代謝障害 (7) 骨疾患	
10) 代謝性疾患 (8) 内分泌疾患	
11) 循環器疾患	
12) 腎臓疾患	
13) 血液疾患、感染免疫アレルギー	
14) 感染免疫アレルギー、脳神経障害	
15) 外科栄養法、がん、呼吸器疾患	
授業外学習	
各講義時間内で、各種映像資料を呈示している。最終考査までに各自何らかの映像資料を元に、その感想・レポートを記入してもらおう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「臨床栄養学 第2版：栄養科学シリーズNEXT」 武田・中坊・竹谷編集（講談社サイエンティフィック）	解剖生理学、実践臨床栄養学、臨床栄養学実習
備考	
プロジェクターを使ってテキストに添って講義を進める。疑問があればその都度質問を。 【オフィスアワー】授業の前後で対応します	